

## 御前岳・釈迦岳縦走～春のお花散策～

【報告者】H田

【日時】平成31年4月7日(日)

【天候】晴れ

【参加者】N井、K崎、みっち一、N谷、Y子、H田

### 《コースタイム》

8:30 杣の里溪流公園→御前岳(標高 1,209m)→釈迦ヶ岳(標高 1,231m)→八ツ滝→13:30 杣の郷溪流公園

### 《 報 告 》

この日の日向神峡は、まさに桜花爛漫、春たけなわ。

前日、「八女・桜まつり 健康マラソン大会」に参加し、満開の桜が咲き誇るなか日向神峡を快走したメンバーと、クライミングを楽しんだメンバーとで合流し、グリーンパル日向神で懇親を深めた。

2日目は、クライミング組とハイキング組に別れて行動した。私は迷わずハイキングを選択。春は桜に限らずお花の季節。どんなお花に出会えるのか想像するだけでワクワクだった。

杣の里公園に着いて、駐車場で身支度を整える。桜が咲く時期とはいえ、この日の朝は冷え込んでいて、歩きはじめてしばらくはダウンジャケットを脱げないほどだった。辺りを見渡すと、タチツボスミレやキランソウなどが咲いている。登山口に近いところにジロボウエンゴサクが咲いているのを見つけた。期待値が上がる。

登山口からしばらくは、溪流沿いを歩く道。早春の溪流沿いは、小さいけれど可憐なお花達で彩られ、つついテンションが上がる。みなさん時々立ち止まって、お花に見入っている。私は健脚揃いのメンバーさんに置いて行かれないよう、写真を撮っては小走りに歩いた。

沢沿いを詰めて林道にぶつかると、そこから御前岳までは急登が長く続いた。時折休憩を挟みながら登ると、鎖場が出てきた。視界が開けたところで景色を見渡すと、周囲はとても山深い。福岡県内で一番標高が高い山域でありながら、頻繁に訪れるほどではなかったが、県内にこんな豊かな自然に恵まれたところがあったのだなとあらためて気付かされる。急登に飽きた頃、御前岳(標高 1,209m)に着いた。

御前岳から釈迦岳までは、比較的なだらかな登山道だ。快適に談笑しながら歩いているうちに、釈迦岳に着いた。

釈迦岳の山頂は、休憩するには狭めで眺望もイマイチだけど、鎮座ましますお釈迦様がいつも優しくお迎えしてくださる。幸いこの日はここまで他の登山者の方に会うこともなく、山頂は貸切状態だったので、少し休み、お釈迦様を囲んで記念撮影した。

ここから林道まで下り、杣の里まで戻る登山道に入った途端、目の前にオオキツネノカミソリの葉っぱが茂っているのが見えた。夏の開花時期になれば一面にオレンジ色の花々で埋め尽くさ



釈迦岳山頂



釈迦ポーズ! (笑)



八ツ滝

れる光景が想像できるほどの群落だった。そして、足元にはあちらこちらに大好きなヤマエンゴサクやサバノオの花が可憐に咲いている。嬉しくて、なかなか前に進めなくなってしまった。先を歩くメンバーに追いつくと、山菜採りをしている風な方々を見つけて話を聞いているところだった。葉わさびを採っているのだと言う。

途中、舗装された林道を横切るところで休憩していたら、ミツマタの花が咲いていた。更に進むと、登山道の脇に八ツ滝の標識があり、少し奥へ進むとすぐ滝が現れた。落差はあまりないが、水量が多い時期なら、見応えのある美湫が見られるかもしれない。また季節を変えて訪れたいと思う。いや、1年後かな。肝心の、日向神峡の満開の桜の写真を撮り忘れてしまうなんて…

今回もご一緒くださったメンバーに、このような報告が出来る会の皆様に、感謝です。

\*\*\* この日出会ったお花たち \*\*\*



ジロボウエンゴサク



ヤマエンゴサク



ムラサキケマン



フウロケマン



タチツボスマレ



エイザンスミレ



エイザンスミレ(白)



スマレ(未同定)



ヤマルリソウ



サバノオ



ハルトラノオ



ヒトリシズカ



コガネネコノメソウ



ボタンネコノメソウ



シロバナネコノメソウ



シロバナネコノメソウ達



シキミ



アセビ



ミツマタ



ヤマザクラ

※ 上記は一部です。個人の見立てですので誤りがあるかも知れません。お気づきの点などございましたら、ぜひ是非ご教示ください。